



Rotary International District 2800 山形西ロータリークラブ会報

会長：長澤 裕二 幹事：三沢 大介

地区目標 ロータリーを語ろう そして ロータリーを楽しもう

クラブテーマ 新会員を育てながら、ロータリーを楽しもう

- ◆点鐘：長澤 裕二 会長 ◆ロータリーソング：国歌・蔵王を仰ぐ
- ◆司会：平田 智則 S.A.A. ◆会場：山形ランドホテル



第3016回例会 令和6年6月3日(月)

会長あいさつ

長澤 裕二 会長



この会場での例会、今日が今年度最後になります。その途中の15日に、一番大変な例会が残っています。アオモリトドマツ植樹例会です。

土曜日に社会奉仕委員会の方と、ボランティアを含めて20名。あと村山産業高校から8名参加して、そのほかに寒河江のボランティアの方も参加しています。総勢30名で苗を植

える、種まきをする所を作ってきました。それが14個完成しました。あと6個作る予定ですが、まだ土が入っていません。土を入れるのは大変な仕事なんです。土曜日にやって、私ほんとにへたりました。5時間くらい皆さんやっていたからね。皆さんずーっとやらないで、2時間くらい休み休みやってください。

作る時に一番大変なのは、笹の根っこが残っているんですね。その笹の根っこを取り除くのに、寒河江ロータリークラブの瀧川さんが根切りチェーンソーというのを持っていて、それで切ってくれた。そのあと村山産業高校に去年贈呈したアースオーガーという機械で実演してくれました。電池式とは思えないくらいすごく力強い機械でした。

それでなんとか苗床を14個作って、6個は今から、15日の当日、皆さんが土を入れて、それで苗をまくということになると思います。その苗床の大きさなのですけれども、30センチの高さで60センチと1メートル 20センチの広さのやつがトータル20個です。それで3,500くらいの種をまくという計画です。なるべくお昼までには終わすようにメドを立てたいというふうには思っています。

もう1つお詫びしなくちゃならないのですが、40人で行って40本の稚樹を植えようということで提案したのですが、40本はちょっと無理だと。自然に生えてくる、自生しているやつなのでなんとか10本にしてくれないかということで、10本だけ植えたいと思います。これは今まで植えたことのない人はぜひ参加していただければと思います。この前10本、10人しか植えていないので、30人いるはずなので、なんとかでも1本に3人ずつみたいなき感じであればと思っています。

6月15日、再来週になります。体力的にはそんなにかからないと思います。当日はそこまで大変ではないと思います。軽くやれると思いますのでよろしくお願いします。

幹事報告

三沢 大介 幹事

- 新会員のご紹介をさせていただきます。長澤会長のご子息になります。長澤純さんです。よろしくお願いします。
- 6月15日の最終クラブ協議会のご案内をさせていただいております。当日は蔵王山頂での移動例会と同日ではございますけれども、パレスグランデール内のSHOT O E Nさんで18時より開催をいたしますので、報告書の提出も併せてよろしくお願いいたします。
- 横沢会員の御尊父様のご葬儀のご案内をさせていただいております。ご会葬のかなわない会員の方、本日17時まで事務局にて香典のほう受け付けておりますので、よろしくお願いいたします。
- 本日例会終了後に理事会を開催させていただきます。理事会の会場は、1階レストラン隣の部屋をご用意しておりますので、お間違いないようよろしくお願いいたします。
- 6月のロータリーレートは1ドル157円です。

本日、通常例会での幹事報告は最後となりました皆さんからの温かいご協力をいただきまして無事務めることができました。ありがとうございました。

新入会員のあいさつ



長澤 純さん

[株式会社フォーラムマルチプレックスシアターズ]

この度は歴史と伝統のある山形西ロータリークラブに入会させていただき、誠にありがとうございます。

仕事柄、山形で仲間づくりをする場がちょっと仕事上では得られないということで、山形青年会議所であったり、商工会の青年部であったり、そういったところに積極的に参加して仲間づくりをしてきたところではあります。

ロータリークラブには数年後ぐらいに加わろうかなと考えていたのですが、この度いろいろお誘いいただいて、ご縁ありまして入会させていただくことになりました。ご指導いただきながら早くこの会でいろいろ学びたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



英語と落語の架け橋
～山形での挑戦と経験～

あんだんてい わお
館団亭 和緒氏

〔山形落語愛好協会 落語家〕

こんにちは。館団亭和緒こと高橋佳奈子と申します。本日はこのような貴重な機会をいただきましたことを心より御礼申し上げます。

私はニューヨークで生まれ、約10年アメリカで育ちました。ニューヨークと言っても皆さんが想像するマンハッタンではなく、映画『ジョーズ』の撮影地にもなったロングアイランドという場所です。地図上ではニューヨークの文字が上にかぶさるように印字されることが多いですね。マンハッタンから大西洋に伸びている半島です。そこに約10年住んでおりました。平日は現地校でネイティブのアメリカ人と同じ学校に通い、土曜日だけ日本人学校に通っておりました。なので、小学校4年生で日本に移り住んだとき、私の日本語はだいぶおかしな状態でした。今もおかしなことになっているかもしれません。

4年生で転入した小学校は、国際理解に力を入れている学校でした。日本とアメリカの小学校では文化が違うので、はじめのうちはかなり戸惑いました。例えば、アメリカでは予防注射は病院で行うのに対し、当時の日本では学校での集団接種だったのです。私は注射が大嫌い、いつも看護師に噛みついたり院内を逃げ回るような子供でした。でも、さすがに同級生の前でそんなことをするわけにもいかず、私が注射に慣れたのは日本の小学校のおかげだと思っています。

中学校、高校を卒業後は青山学院大学に進学し、3年生の時にはイチロー選手が活躍していた、シアトルにあるワシントン大学へ1年間の交換留学をしました。その後、秘書の仕事に就きましたが、結婚を機に夫の仕事の都合で東北を転々とする生活を送ります。山形に移り住んで今年で10年目になりますが、今ではすっかり山形が大好きです。私が初めて落語に触れたのは、長男の国語の授業がきっかけでした。4年生の教科書に「ぞろぞろ」という噺が掲載されており、その内容を暗記するという宿題が出されたのです。息子が淡々と読んでいただけなら、魅力を感じなかったかもしれませんが、彼が役になりきって披露してくれたので、自然と笑いがこみ上げました。教科書を暗記しただけの息子で笑ってしまうのなら、プロの落語家はどのほど面白いのだろうか、と興味がわきました。

転勤が多かったので、市報でいつも情報収集をするのですが、お正月に南沼原コミュニティセンターで新春落語会が行われることを知り、山形落語愛好協会の存在を知ることとなりました。長男と一緒に邪魔をしたのですが、その面白さにすっかりハマってしまい、さっそく会の勉強会に参加させていただきました。最初は長男の付添としての参加でしたが、いつの間にか、私もやってみたくなり、その年の10月には初高座に上がりました。今は私自身あまり精力的に活動はできていませんが、落語愛好協会所属のアマチュア落語家として、地域のイベントや時には学校で落語を披露させていただいています。

私の考える落語の魅力は、同じ噺でも演じる人によってまったく違う景色を見ることができるところだと思います。江戸時代から語り継がれている噺が多くあるにも関わらず、聞く度に新たな魅力を発見できるんです。また、

落語はお客さんと演者の双方が力を合わせてできあげる芸だと思っています。演者が噺を提供し、その噺を聞いたお客さんが、それぞれに思い描いた景色を想像するのです。つまり、お客さんの想像力が大事な芸だということも言えると思います。なので、私が美しい花魁を演じているときは、無理だと思わずに、皆さんは絶世の美女を想像しなければならないわけですね。

山形は小さな会場で落語家を間近で見られる機会がたくさんありますので、今日私の落語を聞いて興味を持っていただけたなら、ぜひプロの落語家を聞きに行きたく思います。ちなみに推しは三遊亭兼好、立川談笑、古今亭文菊、鈴々舎馬場など、挙げればキリがありません。さて、私の本業は字幕翻訳者です。今、戸田奈津子さんの名前を思い浮かべた方が多いと思いますが、私は彼女とは逆方向の、日本語の映像に英語の字幕をつける仕事をしています。映画やドラマなどのエンタメ作品だけでなく、最近では企業の研修動画に字幕をつける仕事なども多くなっています。

また、2021年より山寺外国語ガイドYamaderansで英語ガイドとしての仕事もしています。山寺は外国のお客様にも人気が高いので、ガイドブックでは知ることのできない、地元ならではの情報を英語でご案内しています。ただ、外国人が興味を持つポイントは、必ずしも日本人と同じではないので、お伝えする情報を少し工夫する必要があります。

例えば松尾芭蕉と山寺は切っても切れない関係ですが、松尾芭蕉が誰なのかすら知らない外国人に俳聖のことを詳しく話しても、人によりますが、あまり興味を持ってもらえないのです。でも、せっかく山寺に来たのなら少しでも芭蕉のことを知ってもらいたいのので、クイズを出しています。「松尾芭蕉」という名前はペンネームです。その意味は誰もが良く知っている果物ですが、分かる方いらっしゃいますか？答えは「バナナ」です。松尾芭蕉は「松尾バナナ」さんなんです。このうんちくは日本人の方からも『へー』をいただける内容ですが、例えばお地蔵さんを指さして『これは何？』という質問は日本人からはなかなか出ないですよね？外国人には外国人に合った情報を提供する必要があります。

さて、2023年末に、私の大好きな落語と英語の融合、英語落語を約20人の外国人の前で初めて披露しました。このとき、既存の落語台本ではなく、自分で日本語の落語を英語に訳し、さらに外国人が面白いと思ってもらえるような内容に少し調整をしました。山寺での経験がなければ、こうした工夫はできなかったと思います。おかげさまで、観客の皆さんからは好評を頂き、実は来月、再び英語落語を披露する機会をいただきました。

さて、今日は皆さんにも私の英語落語…ではなく、日本語の古典落語を楽しんで頂ければと思います。落語を聞くのが初めてと言う方もいるかもしれませんので、落語を聞くポイントを2つだけお伝えします。

まず1つめは、面白いなーと思ったら素直に大きな声で笑うことです。なかなか男性は声を上げて笑わないことが多いですが、面白いと思ったら素直に大きな声で笑ってもらえば、私のやる気も増しますので、ぜひ大声で笑ってください。

2つめは、つまらないなーと思っても、どうか笑うことです。この2つを守っていただければ落語はきっと楽しめると思います。

これは何も私のために笑ってください、と言っているわけではありません。笑うと皆さんの健康寿命を伸ばす効果があるんです。笑うことで免疫細胞の一種であるナチュラルキラー細胞が活性化されて、免疫力が上がるのが証明

されています。ですので、ご自分のためにも大いに笑っていただければと思います。

先ほどは日本とアメリカの違いについてお話ししましたが、実は共通点もあるんです。何かといえば、結婚に関する考え方です。日本では「結婚は人生の墓場」なんて言い方をしますが、アメリカにも似たようなフレーズがあるんです。アメリカでは「The most dangerous food is a wedding cake」と言って「この世で1番危険な食べ物はウェディングケーキ」なんてことを、言います。結局、結婚に関する価値観は世界共通なんだと思います。要するに世界一周の船旅と同じなんです。長い後悔の始まりってね。今日はこんな結婚についてのお話をさせていただこうと思います。



委員会報告

親睦・家族委員会

会員4名、奥様が5名、6月に誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

社会奉仕委員会

6月15日、蔵王山頂でアオモリトドマツの種まき例会を開催させていただきます。今のところ37名のご参加をいただいているというお話なのですが、まだ出席の報告をいただいている方もいらっしゃるそうなので、ぜひご参加をお願いいたします。

当日なのですが、ロータリークラブの会員の方と民間の方を含めて苗床を作ってきましたので、そんなに重労働にはならないと思います。種まきしていただいて、あとは稚樹を植えていただく方とか、ということで、あまり、そんなに重労働を課しませんので、ぜひ蔵王にお越しください。よろしくお祈りいたします。

広報雑誌委員会

『ロータリーの友』6月号についてご紹介いたします。『ロータリーの友』6月号15ページ、ロータリー俳壇のコーナー、夏井いつき先生が選出した俳句として、山形西クラブの戸田会員の作品が選ばれたのでご紹介いたします。

「春を待つ 蔵王こけしの 系譜かな」
誠にありがとうございます。

ニコニコBOX

〈6月3日〉

長澤裕二会長／社会奉仕委員会、もう本当に感謝

6月1日土曜日に社会奉仕委員会と会員ボランティア20名でアオモリトドマツの苗床が完成しました。村山産業高校から生徒と先生が8名参加して、若い力に助けられました。感謝でニコニコします。

三沢大介さん／今年度最後の通常例会

今年度最後の通常例会となりました。残り1カ月となりましたが、気を抜くことなく精一杯がんばります。

社会奉仕委員会の高嶋さん、武田元裕さん、小松さん、小林さん、早川さん／土曜日はお疲れさまでした

6月1日に、6月15日に開催されるアオモリトドマツ種まき例会の準備作業、苗床づくりを行いました。会員有志の方、山形森林管理署、造園屋さんのリーン・プランテーション瀧川社長さん、村山産業高校の先生、生徒さんのお力で無事作業完了いたしました。ありがとうございます。6月15日、皆さまの参加をお待ちしております。

遠藤正明さん／ようこそ館団亭和緒さん、ようこそ西ロータリークラブへ

外国語ガイド『Yamaderans(ヤマデランズ)』として山寺のインバウンド対応に対し、大変お世話になっております。今日は楽しみにしています。

武田秀和さん／全国新酒鑑評会金賞受賞

本年度の全国新酒鑑評会にて、最高賞となる金賞をいただきました。山形県が開発した新米『雪女神』を用いて、昨年に続いている受賞です。山形県は14歳の受賞で、全国3位の快挙です。

戸田正宏さん／またまた『ロータリーの友』に

小生の句がまたまた『ロータリーの友』俳壇に掲載されました。『春を待つ 蔵王こけしの 系譜かな』、皆さんも俳句を始めませんか。おもしろいですよ。

市村清勝さん／楽しいたけのこ採り

昨日、蔵王にたけのこを採りに行ってきました。6人で、『もう遅いよ』と言われたのですが、大量でした。味噌汁、たけのこご飯、焼いて味噌、笑いあり、スタッフのアクシデントありのとても楽しいたけのこ採りでした。大勢で行くと楽しさ倍増です。

長谷川浩一郎さん／館団亭和緒様をお迎えして

今年度最後のゲスト卓話に館団亭和緒様をお迎えすることができ、ニコニコいたします。和緒先生のますますのご活躍と笑風亭間助様をはじめとする山形落語愛好協会の一層の発展をご祈念申し上げます。

こちらでの通常例会が、今日が最後ということで、ニコニコ、今年1年たくさんの皆さまからご奉仕をいただきました。最終例会はまだありますので、まだニコニコされていない方、また最終例会にお待ちしておりますので、よろしくお祈りいたします。どうもありがとうございました。

本日出席 (6 / 3)	会員総数	出席会員数
	104名	73名